

自動車保険 商品改定のご案内

拝啓 皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より日本興亜損保の自動車保険につきまして格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、日本興亜損保では、2013年4月1日以降をご契約期間の初日とする自動車保険について、商品改定を実施することといたしました。

つきましては、商品改定の概要について次のとおりご案内申し上げますので、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

なお、今回の商品改定においては、損害保険料率算出機構(<http://www.nliro.or.jp/>)による参考純率の改定を踏まえ、「記名被保険者年齢別料率」を導入すると共に、近年の事故の発生状況などを踏まえ、保険料水準の見直しを実施させていただきますので何卒ご了承ください。

敬具

このご案内において、カーBOXとは「くるまの総合保険」、SIPとは「一般自動車総合保険」を指す商品名称です。

「記名被保険者年齢別料率」の導入に関する改定

【カーBOX SIP】

1 「記名被保険者年齢別料率」の導入

記名被保険者（ご契約のお車を主に使用される方）の年齢別のリスク実態などを踏まえ、お客様間の保険料負担の公平性を高めるために、「記名被保険者年齢別料率」を導入します。

運転者年齢条件を「26歳以上補償」または「35歳以上補償」に設定された場合、運転者年齢条件が同一であっても、ご契約期間の初日時点の記名被保険者の年齢に応じた「記名被保険者年齢区分」の保険料を適用します。

※「記名被保険者年齢区分」は保険料を算出するための区分であり、補償される運転者の範囲ではありません。

⇒ 「記名被保険者年齢別料率」の導入の背景につきましては、2ページをご覧ください。

2 運転者年齢条件特約の改定

「26歳以上補償」と「30歳以上補償」の運転者年齢条件を統合し、「26歳以上補償」に一本化します。

3 運転者年齢条件の変更予約特約の廃止

「記名被保険者年齢別料率」の導入にともない、運転者年齢条件の変更予約特約を廃止します。

※運転者年齢条件の変更予約特約はカーBOXのみの特約です。

改定前
運転者年齢条件
年齢を問わず補償
21歳以上補償
26歳以上補償
廃止 30歳以上補償
35歳以上補償 <カーBOXのみ>

改定後	
運転者年齢条件	記名被保険者年齢区分 新設
年齢を問わず補償	適用なし
21歳以上補償	適用なし
26歳以上補償	29歳以下
	30歳～39歳
	40歳～49歳
	50歳～59歳
	60歳～69歳
35歳以上補償 <カーBOXのみ>	70歳以上
	29歳以下*
	30歳～39歳
	40歳～49歳
	50歳～59歳
	60歳～69歳
	70歳以上

*運転者年齢条件が「35歳以上補償」で記名被保険者年齢区分が「29歳以下」となるのは、29歳以下の個人事業主が所有するご契約のお車を、35歳以上の従業員の方がその業務のために使用する場合などになります。

保険料の改定

【カーBOX SIP ドライバー保険】

近年の事故の発生状況などを踏まえ、保険料水準の見直しを行います。

運転者年齢条件やご契約のお車の用途車種、補償種類などご契約条件により、引上げまたは引下げとなります。

⇒ 保険料の改定の背景につきましては、3ページをご覧ください。

「くるまの安心サービス」に関する改定 **拡大**

【カーBOX SIP】

「くるまの安心サービス」における、事故や故障により自力走行が不能となった場合の現場から修理工場までのレッカー搬送について、無料で行う搬送距離の上限を実走行距離で「50km」から「100km」へ拡大します。

⇒ 「くるまの安心サービス」の概要および対象契約などについては、4ページをご覧ください。

「記名被保険者年齢別料率」の導入の背景

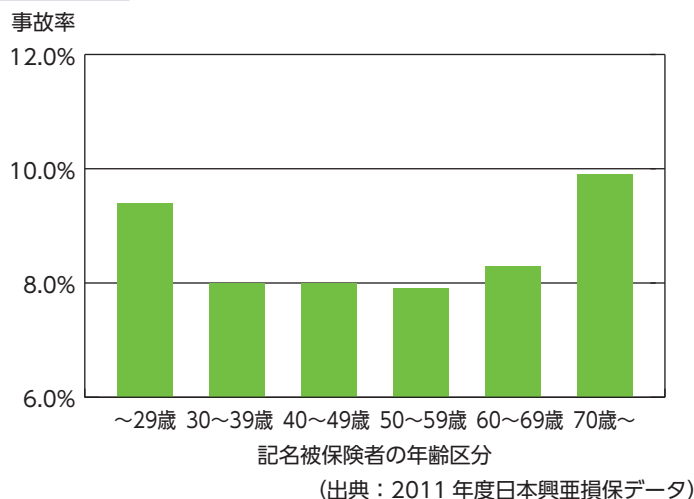
1 記名被保険者の年齢別の事故率

- 日本興亜損保の自動車保険では、これまで、記名被保険者の年齢が保険料には影響しない仕組みを採用しておりました。
- しかし、実際には「グラフ①」のとおり、記名被保険者の年齢層ごとに自動車保険の事故率*は大きく異なります。特に、60歳以上になると、年齢層が高くなるほど事故率*も高くなっています。

*事故率とは、日本興亜損保のご契約のうち、実際に保険金をお支払いする事故が発生した割合をいいます。

事故率 = 事故件数 / 契約件数

グラフ① 記名被保険者の年齢別の事故率

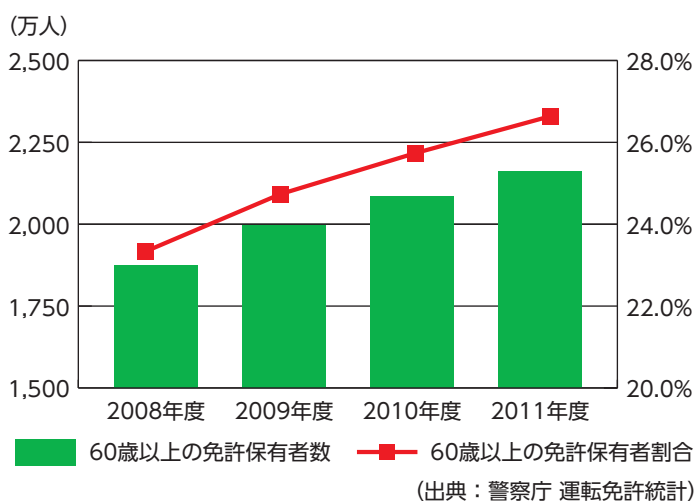


2 60歳以上の運転者の増加と保険料への影響

<60歳以上の運転者の増加>

- 「グラフ②」のとおり、近年、60歳以上の運転者の割合は、年々増加する傾向にあります。
- この傾向は、少子高齢化社会の進展といった社会環境の変化によるものであるため、今後も続くことが見込まれます。

グラフ② 60歳以上の運転免許保有者数・割合の推移



<保険料への影響>

- これまで、事故率の高い60歳以上の年齢層の方のご契約を、事故率の低い30歳以上60歳未満の年齢層の方のご契約に含め、保険料と保険金のバランスを保ってきましたが、事故率の高い60歳以上の運転者の割合が高くなるにつれ、そのバランスが崩れてきてしまいました。
- こうした状況において、これまでの仕組みの中で、保険料と保険金のバランスを保つためには、事故率の低い30歳以上60歳未満の年齢層の方が、事故率の高い60歳以上の年齢層の方の分の保険料を、これまで以上に負担いただかなければなりません。
- しかし、お客様間の保険料負担の公平性の観点から、そのような対応は難しい状況にあります。



日本興亜損保はこうした状況を踏まえ、今般、年齢層に応じたリスク実態を反映し、保険料を公平にご負担いただき、保険料と保険金のバランスを保つために、「記名被保険者年齢別料率」を導入させていただくことになりました。

何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

「記名被保険者年齢別料率」は、2009年から「参考純率*」に導入され、すでに多くの損害保険会社で導入されています。

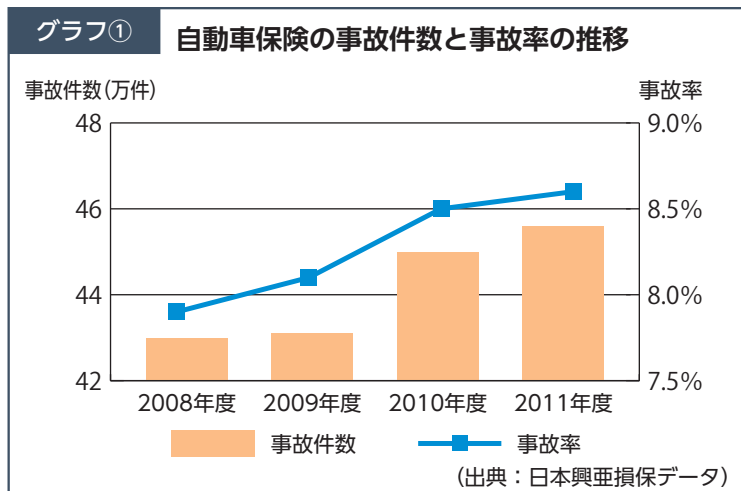
*保険料率は、将来の保険金に充てられる「純保険料率」と保険会社の事業費に充てられる「付加保険料率」で構成されています。日本興亜損保の「純保険料率」は損害保険料率算出機構が各保険会社からのデータを基に算出した「参考純率」に基づき算出しています。

1 自動車保険の事故件数と事故率の推移

- 自動車保険においては、**グラフ①**のとおり、**事故件数が2009年度から2010年度にかけて、急激に増加しています。**
- また、それともなっており、**事故率*も上昇傾向にあります。**

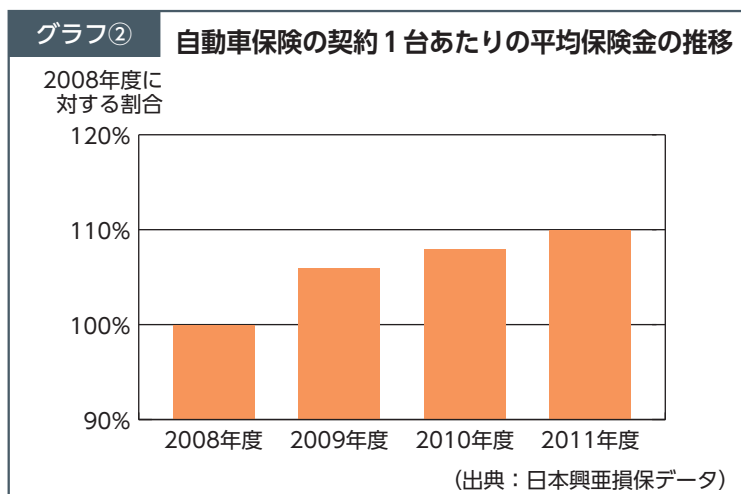
*事故率とは、日本興亜損保のご契約のうち、実際に保険金をお支払いする事故が発生した割合をいいます。

事故率 = 事故件数 / 契約件数



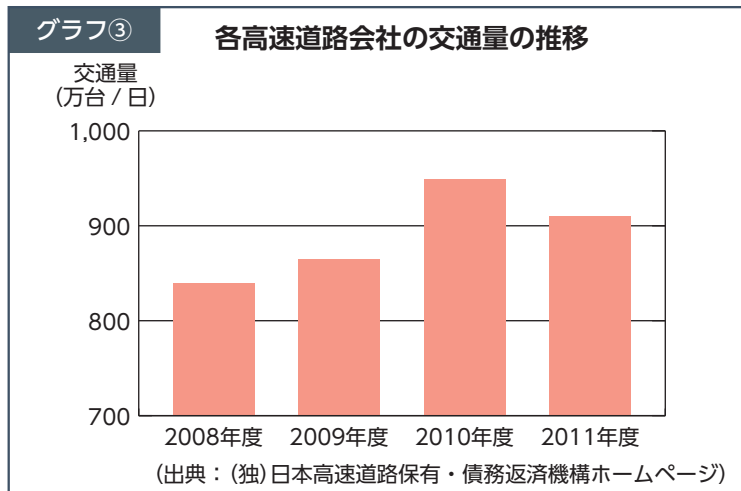
2 自動車保険の平均保険金の推移

- グラフ②**は、日本興亜損保における契約1台あたりの平均保険金の推移です。2008年度の平均保険金に対する割合で表しています。
- グラフ②**のとおり、契約1台あたりの平均保険金は年々増加傾向にあり、**2011年度は2008年度に比べ、10%も増加しています。**
- このように、自動車保険では、**事故率の上昇にともなう契約1台あたりの平均保険金の上昇により、お客様からいただく保険料と日本興亜損保がお支払いする保険金のバランスをとることが難しい状況が続いております。**



3 事故件数増加の要因

- 事故率の上昇および事故件数の増加の一因としては、**交通量の増加が考えられます。**
- グラフ③**のとおり、2009年度から2010年度にかけて交通量は急増し、2011年度も高い水準にあります。
- この背景としては、**高速道路料金の各種割引などによる自動車利用時のコストの低減など、社会全体で生じている現象が大きな要因として考えられます。**



日本興亜損保では、2012年1月に保険料改定を実施させていただきましたが、上記①、②のとおり事故発生状況および支払保険金状況が、2011年度も上昇するなど、依然として保険料と保険金のバランスが悪い状況が続いています。

こうした状況を踏まえ、将来にわたり安定的に良い保険商品とサービスをお客様に提供させていただくために、2013年4月1日以降をご契約期間の初日とするご契約より、保険料を改定させていただきます。

何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本興亜損保は、お客様により安心してご契約いただくために、「くるまの安心サービス」「事故対応サービス」「事故防止サービス」の充実した力を入れています。

日本興亜損保の「くるまの安心サービス」～ 事故や故障の際にも安心のロードサービス！～

くるまの安心サービス受付ダイヤル 0120-040-546(24時間×365日)

レッカーただいま参上サービス レッカー搬送距離のサービス範囲は100km!

トラブル現場から**100km**(実走行距離)以内の修理工場まで、レッカーによる搬送を無料でいたします。

※現場から100km以内に修理工場がない場合は、現場から最寄りの修理工場までのレッカーによる搬送を無料でいたします。



諸費用ただちに応援サービス 遠方でのトラブルで、お車で帰宅できなくなった場合でも安心!

記名被保険者のご自宅から50km(直線距離)以上遠方での事故や故障により、自力走行が不可能となった場合に、宿泊施設や代替交通機関などの手配を行うとともに、宿泊・帰宅に必要な費用についても、所定の額を限度にサービスします。

※宿泊・帰宅にかかる費用は、お客様にお立て替えいただき、後日精算いたします。

トラブルたちまち解消サービス バッテリーあがりなどのちょっとしたトラブルにも対応!

鍵の閉じ込み・バッテリーあがり・ガス欠などにより自力走行が不能となった場合に、現場において30分程度で可能な緊急対応を無料でいたします。

※ガソリン代、バッテリー充電代、鍵の再作成費用、部品代などはお客様のご負担となります。 ※セキュリティ装置付車両の鍵開けについては対応できない場合があります。

※本サービスの対象になるご契約は「カーBOX」,「SIP(人身傷害補償特約をセットされた場合)」となります。ただし、お客様が自ら所有し、かつ、使用されるお車のご契約台数が10台以上(他の保険会社でのご契約台数を含みます。)の場合のご契約については、ご契約条件にかかわらず「レッカーサービス」など一部のサービスをご利用いただけます。

※「くるまの安心サービス」は、日本興亜損保が(株)プライムアシスタンスおよび(株)リラックス・コミュニケーションズにサービスの運営実施を委託しています。

本サービスの詳細につきましては、別途ご用意しております「くるまの安心サービス」チラシをご覧ください。

日本興亜損保の事故対応サービス ～ 一分・一秒でも早い安心・納得の事故対応! ～

24時間事故受付サービス

もしもの事故に備え、24時間365日稼働の「事故受付センター」と全国を網羅する損害サービス網で、お客様を全力でサポートします。



24時間初期対応サービス

24時間体制でお客様をサポート!

平日の日中はもちろんのこと、夜間・休日に発生した事故の場合でも、お客様の要望に応じて、夜間・休日稼働の損害サービスセンターにおける専門スタッフが事故解決に向けたアドバイスや、事故の相手方への電話連絡、修理工場や病院への連絡、レンタカーの手配など、迅速な初期対応を行います。

※自然災害発生時や事故の相手方のご都合、病院などの関係機関の事情により、翌日以降の対応とさせていただきます場合があります。



日本興亜損保の事故防止サービス ～ スマートフォンアプリで安全運転をサポート! ～



安全運転サポートアプリ

Safety Sight
セーフティサイト

無料アプリ!



iPhone

App Storeで「Safety Sight」と検索してください。

▶ ご利用環境:iPhone4,4S / iOS4.1以上

Android携帯

Google Playで「Safety Sight」と検索してください。

▶ ご利用環境:機種によりご利用いただけません場合があります。対応機種については、ダウンロードページにてご確認ください。

機能1 前方車両接近アラート/前方車両発進お知らせ

前方映像や位置情報により、スマートフォンが車間距離を分析し、前方車両の接近や発車検知時に、音と声でお知らせします。

機能2 安全運転診断

スマートフォンが感知した揺れや位置情報などにより、速度・急操作・車間距離などに関する安全運転診断を実施します。

機能3 ドライブレコーダー

運転中に急ブレーキや衝突などの衝撃を感知した際に、衝撃の前後各10秒間(最長)の前方映像を自動的に録画します。手動での録画も可能です。

機能4 走行履歴

走行したルートや速度、急ブレーキ・急アクセルなどの操作、車間距離が不足していた区間などを記録し、地図上に表示します。

機能5 トラブル解決術

もしも、パンクしてしまったり…そんなトラブルの対処法を専門家がアドバイスします。高速道路のPA・SAなどの周辺施設に関連した情報を通知するトラブライザーもあります。

機能6 緊急連絡先

日本興亜損保や損保ジャパンの事故受付などの連絡先、警察や救急の緊急連絡先を掲載しています。スマートフォンからそのまま電話することができます。

※ご利用にはスマートフォンをダッシュボードに固定するホルダー(クレイドル)が必要です。また、設置の際は、エアバッグの作動や、運転の妨げにならない場所へしっかり固定してください。 ※本アプリは安全運転を補助するものであり、事故を直接防ぐものではありません。 ※詳しい利用方法などはアプリの説明画面をご確認ください。

- このご案内は「くるまの総合保険(カーBOX)」、「一般自動車総合保険(SIP)」、および「ドライバー保険」に関する2013年4月の改定概要をご説明したものです。さらに詳しい内容をお知りになりたい場合は取扱代理店または日本興亜損保までお問い合わせください。
- ご契約に際しては重要事項説明書の「契約概要のご説明」および「注意喚起情報のご説明」を必ずお読みください。また、「ご契約内容がご希望に沿っていること」「保険料の算出に関わる事項が正しいこと」を確認させていただきますので、ご協力いただきますようお願いいたします。
- 取扱代理店は、日本興亜損保との委託契約に基づき、保険契約の締結、保険料の領収、保険料領収証の交付、契約の管理業務などの代理業務を行っております。したがって、取扱代理店とご締結いただいで有効に成立したご契約につきましては、日本興亜損保と直接契約されたものとなります。



日本興亜損害保険株式会社

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3
お客様サポート室 0120-919-498
受付時間: 平日の9:00～20:00/土日、祝日の9:00～17:00
(12/31～1/3を除きます)
ホームページアドレス <http://www.nipponkoa.co.jp>

●お問合せは下記の取扱代理店まで